

# 現地見学会 資料

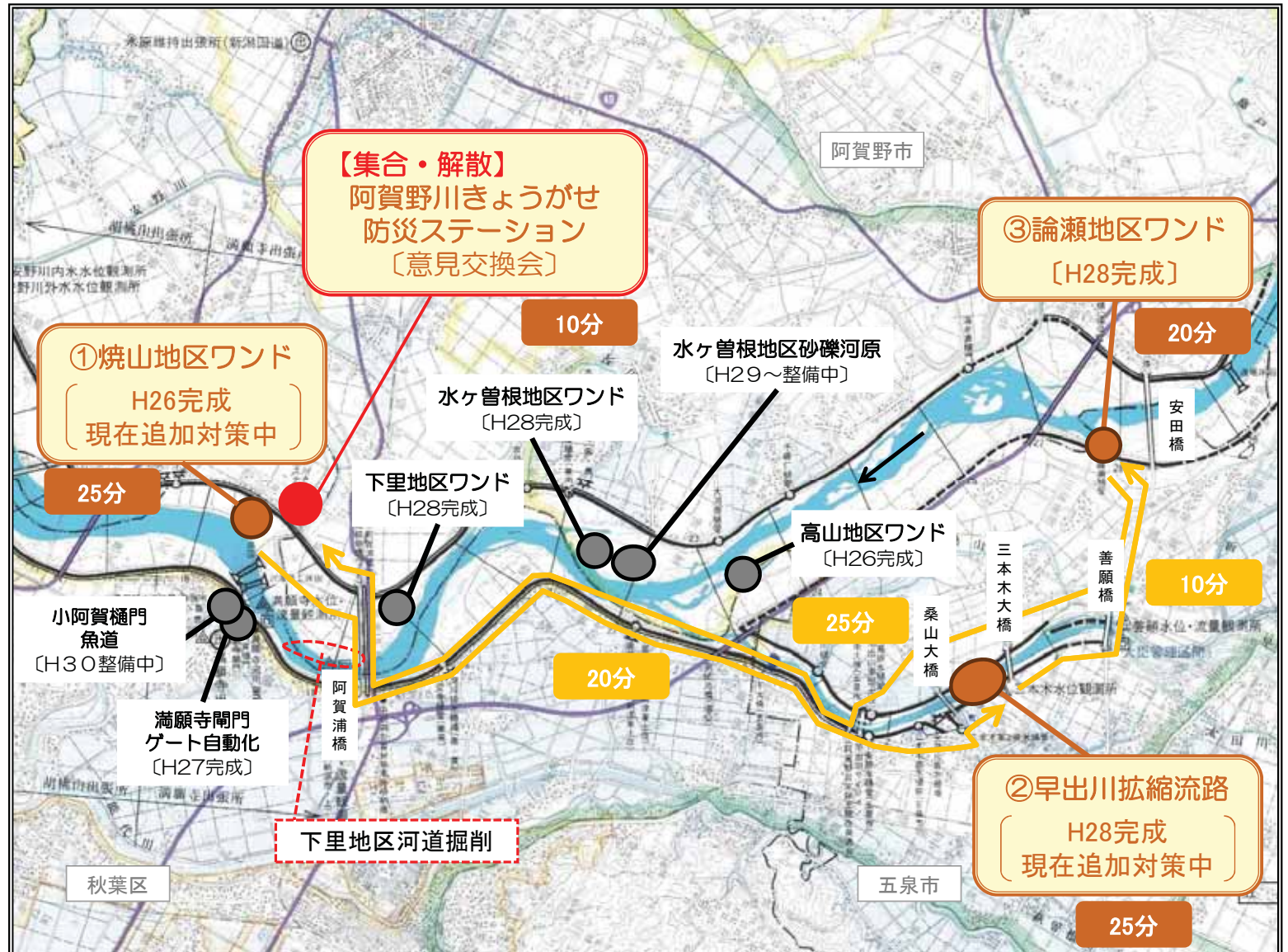


阿賀野川河川事務所

平成30年11月

## 見学行程

13:30 (約5分)	開会 (移動)
13:35 ~14:00 (約25分)	焼山地区ワンド 視察
(約20分)	(移動)
14:20 ~14:45 (約25分)	早出川 視察
(約10分)	(移動)
14:55 ~15:15 (約20分)	論瀨地区ワンド 視察
(約25分)	(移動)
15:40 (約10分)	防災ステーション 帰着
(休憩)	
15:50 ~16:00	意見交換会
16:00	閉会



現地見学ルート

# 焼山地区ワンド

〔平成26年度完成  
現在追加対策中〕

## 2. 焼山地区ワンド



出典: 国土地理院HP



### 下流部の拡幅



第6回検討会  
資料より

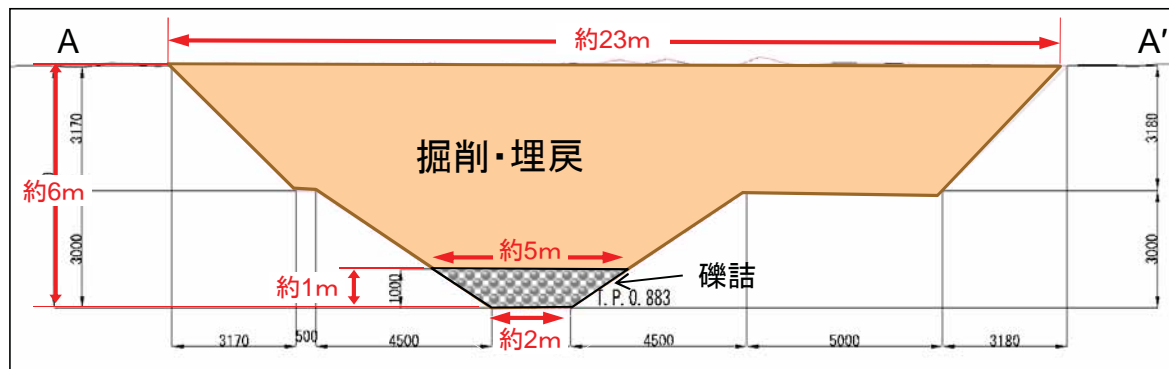
【改良目的】湧水量の増加。水の入替の向上

■工法：開削し、通水性の高い礫（φ20～40mm程度想定）を詰め、埋め戻す。

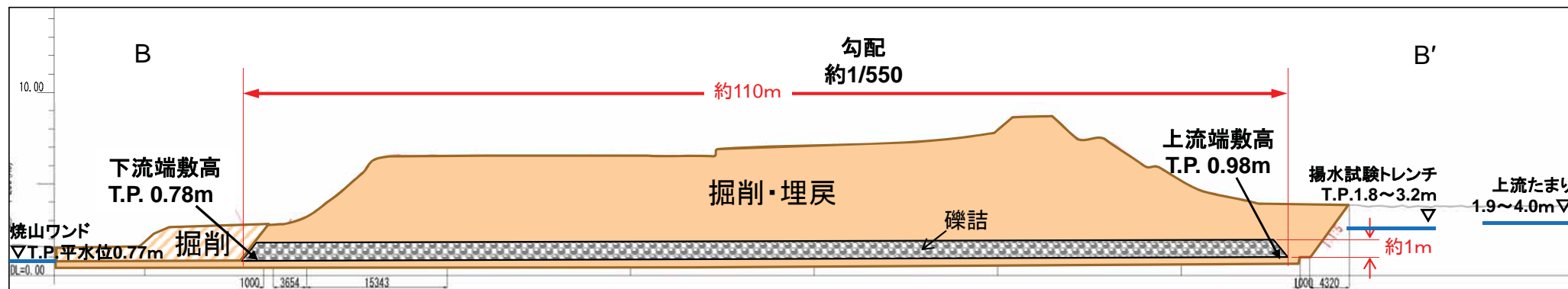
■ルート：上流端は、中流たまり付近に設置。  
占用地での耕作や農業用井戸の位置に配慮。

■敷高：礫詰め内を常に水が流れるよう、焼山ワンドの平水位より上に設定。

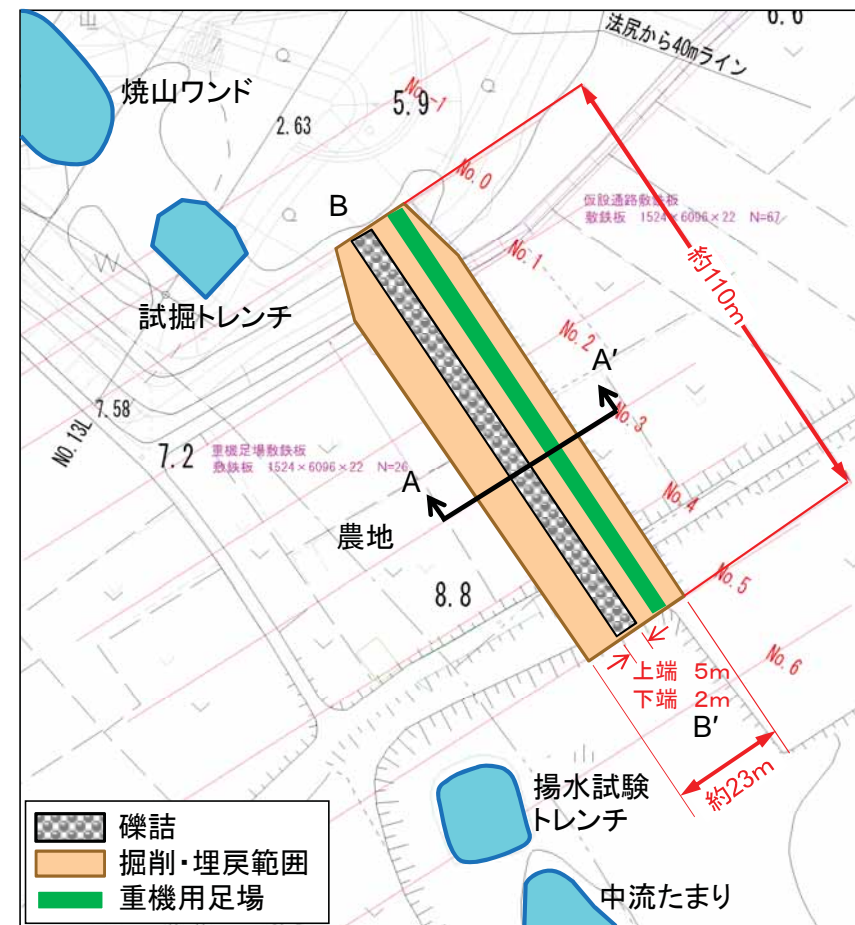
### ■計画横断面図



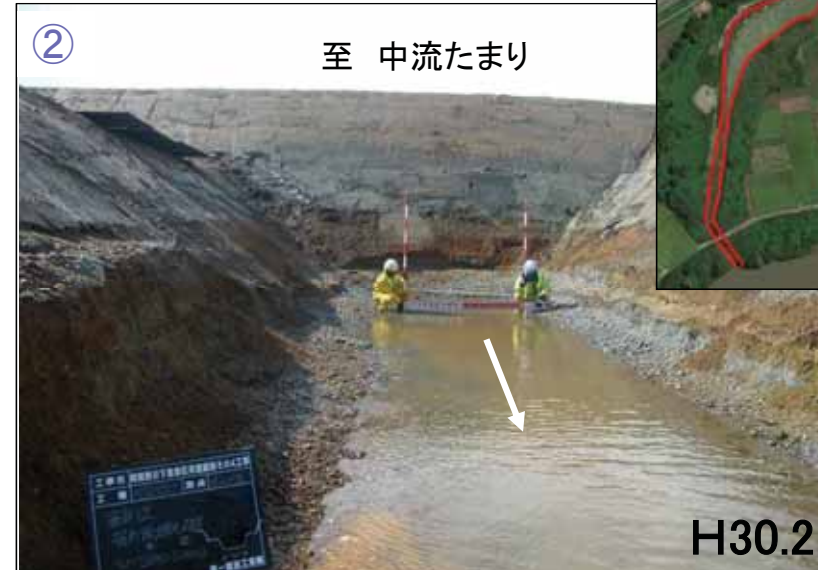
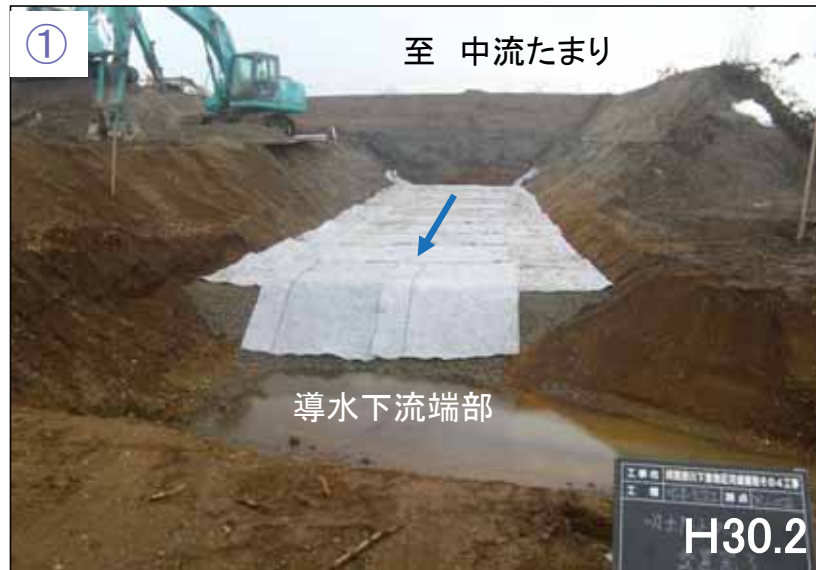
### ■計画縦断面図



### ■平面計画図



### ■ 締切堤付近の導水（平成29年度工事写真）



# 早出川拡縮流路

〔平成28年度完成  
現在追加対策中〕



### 3. 早出川拡縮流路

第6回検討会  
資料より

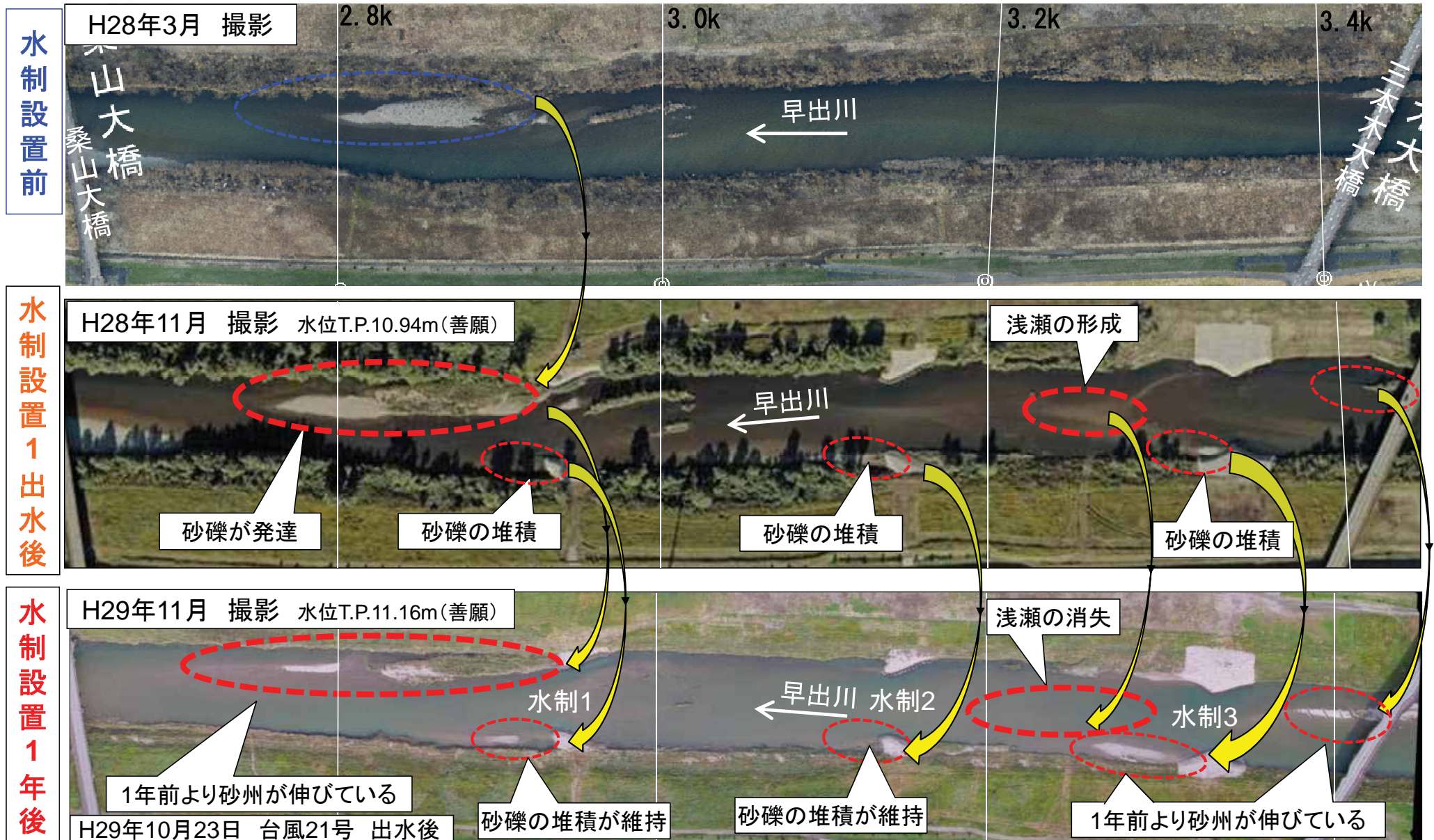
- 水制下流部の河岸に、土砂が堆積して緩流部が形成され、流心部には良好な瀬が形成されるなど、多様な流れからなる河川環境が再生。
- サケの産卵行動の報告もあるなど、河床環境も改善していることがうかがえる。



### 3. 早出川拡縮流路 河床の変化(1)

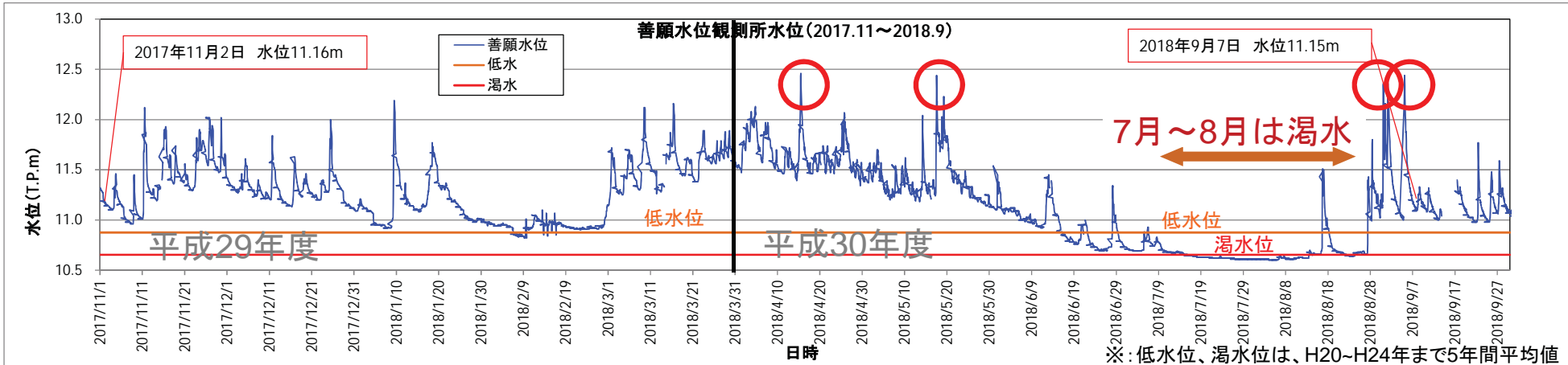
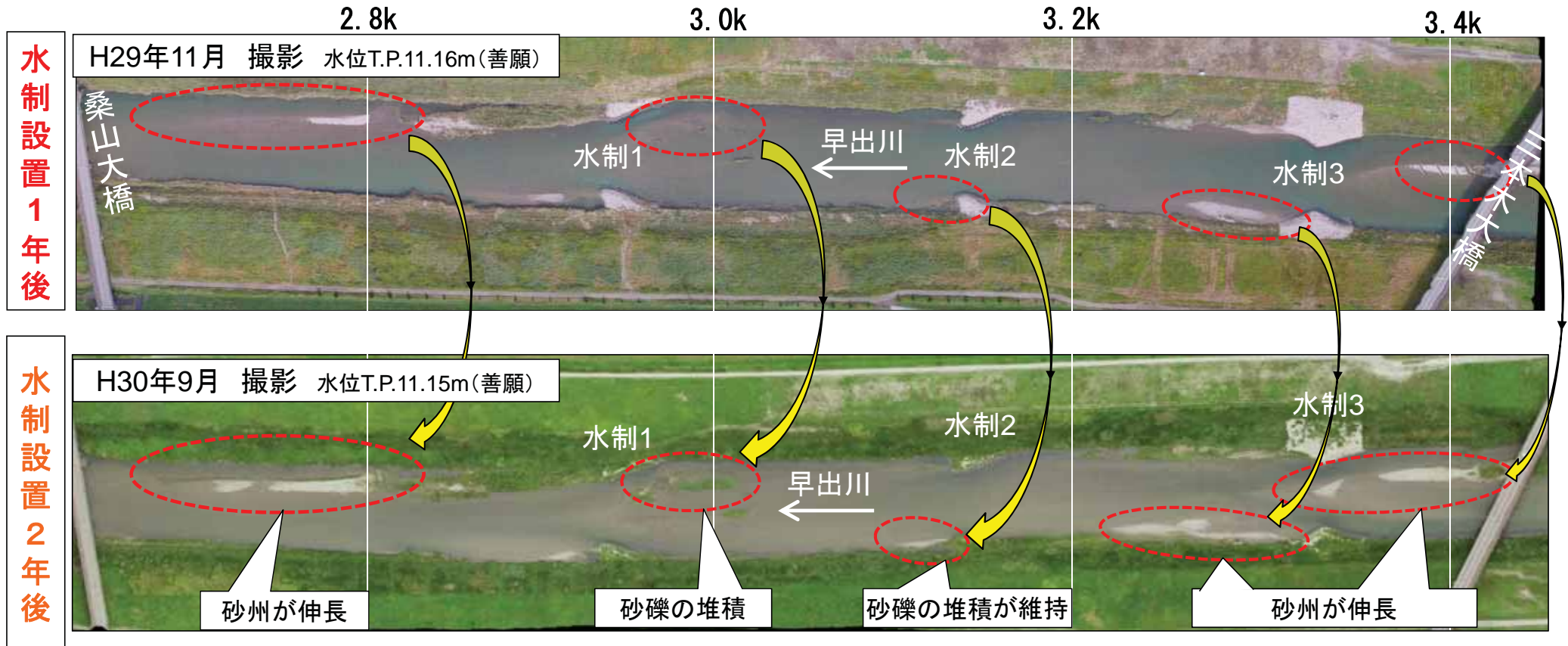
第6回検討会  
資料より

- 水制の設置によって、浅瀬の形成・消失、砂礫の堆積など、河道内の土砂の変動を確認した。
- 共同研究での模型実験結果と同じく、水制下流側河岸への堆積が生じていた。



### 3. 早出川拡縮流路 河床の変化(2)

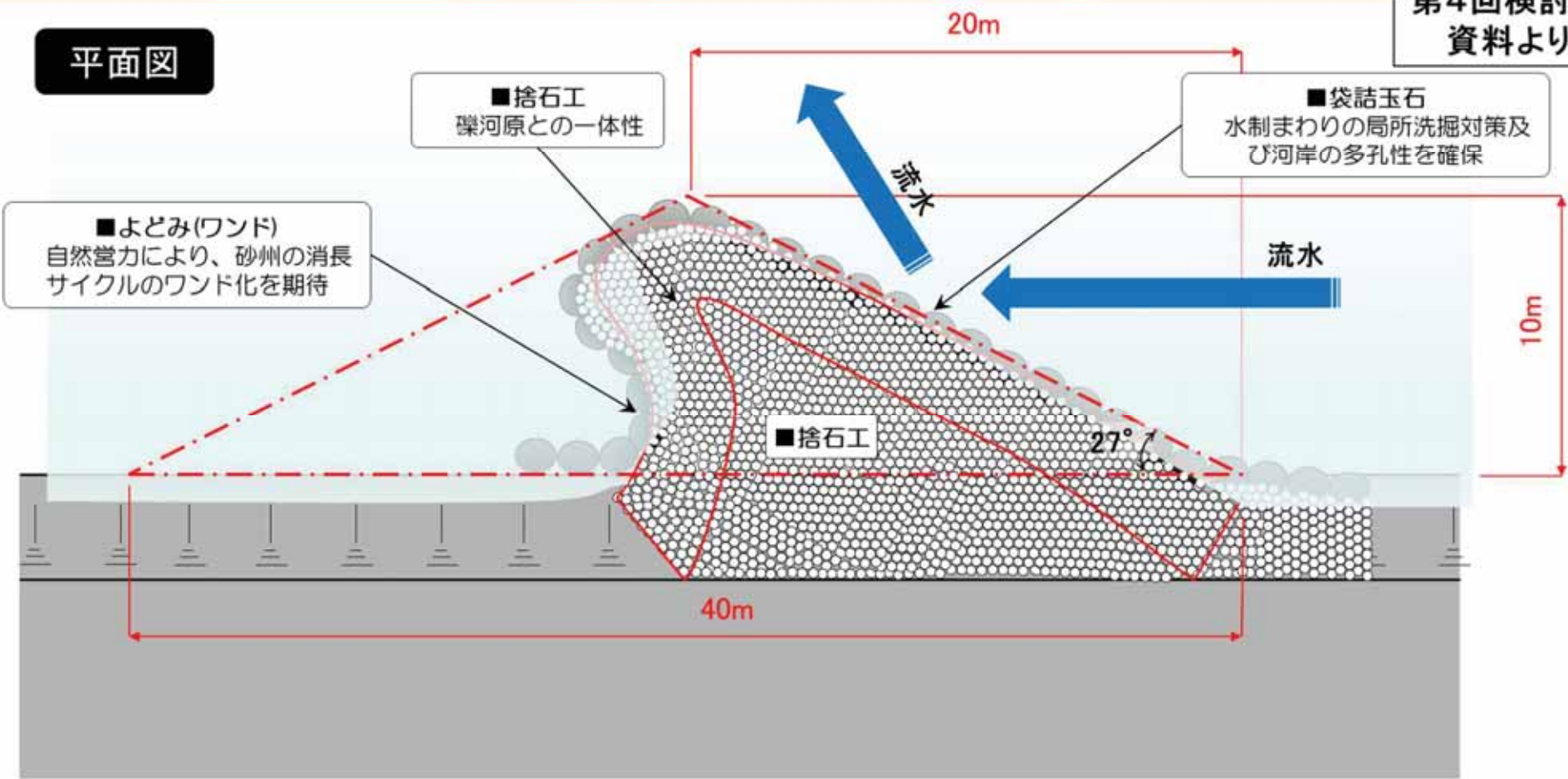
- ・昨年度に比べ、砂州の伸長や砂礫の堆積が見られる。
- ・出水は、中小規模が数回発生。 7月～8月は渇水で水位低下したことから、一部の砂州に植生が繁茂。



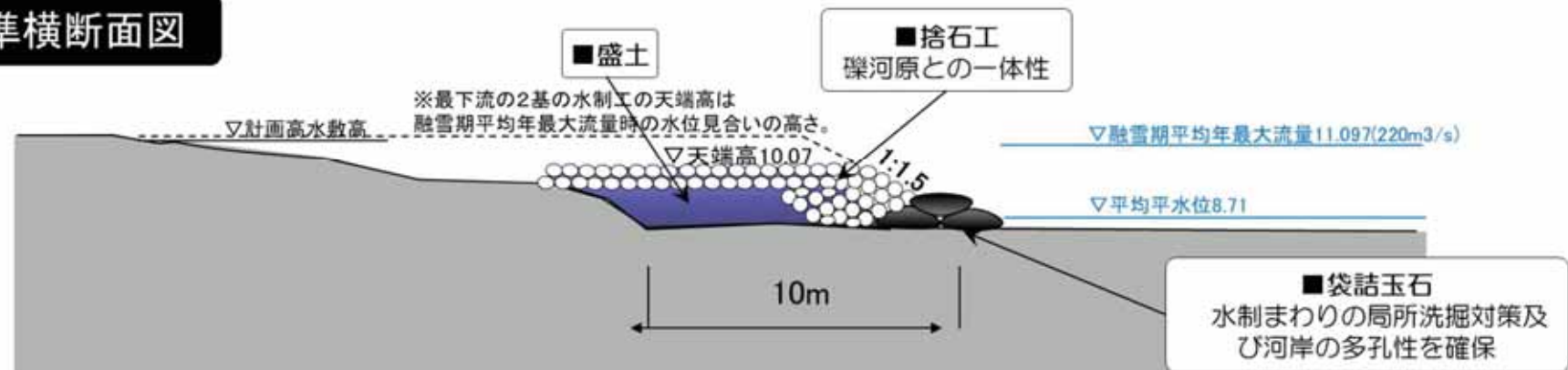
※: 低水位、渇水位は、H20～H24年まで5年間平均値

第4回検討会  
資料より

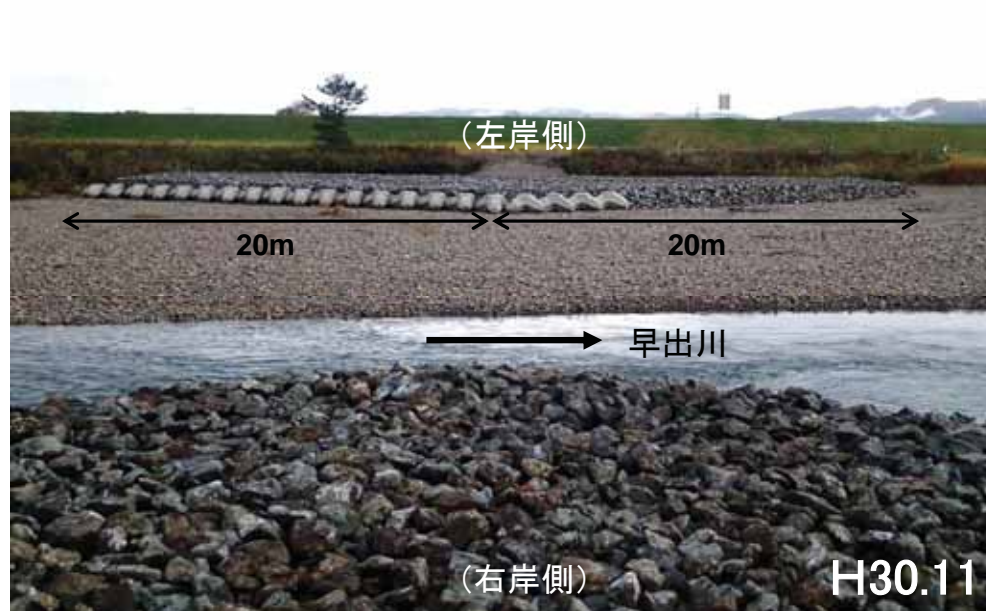
## 平面図

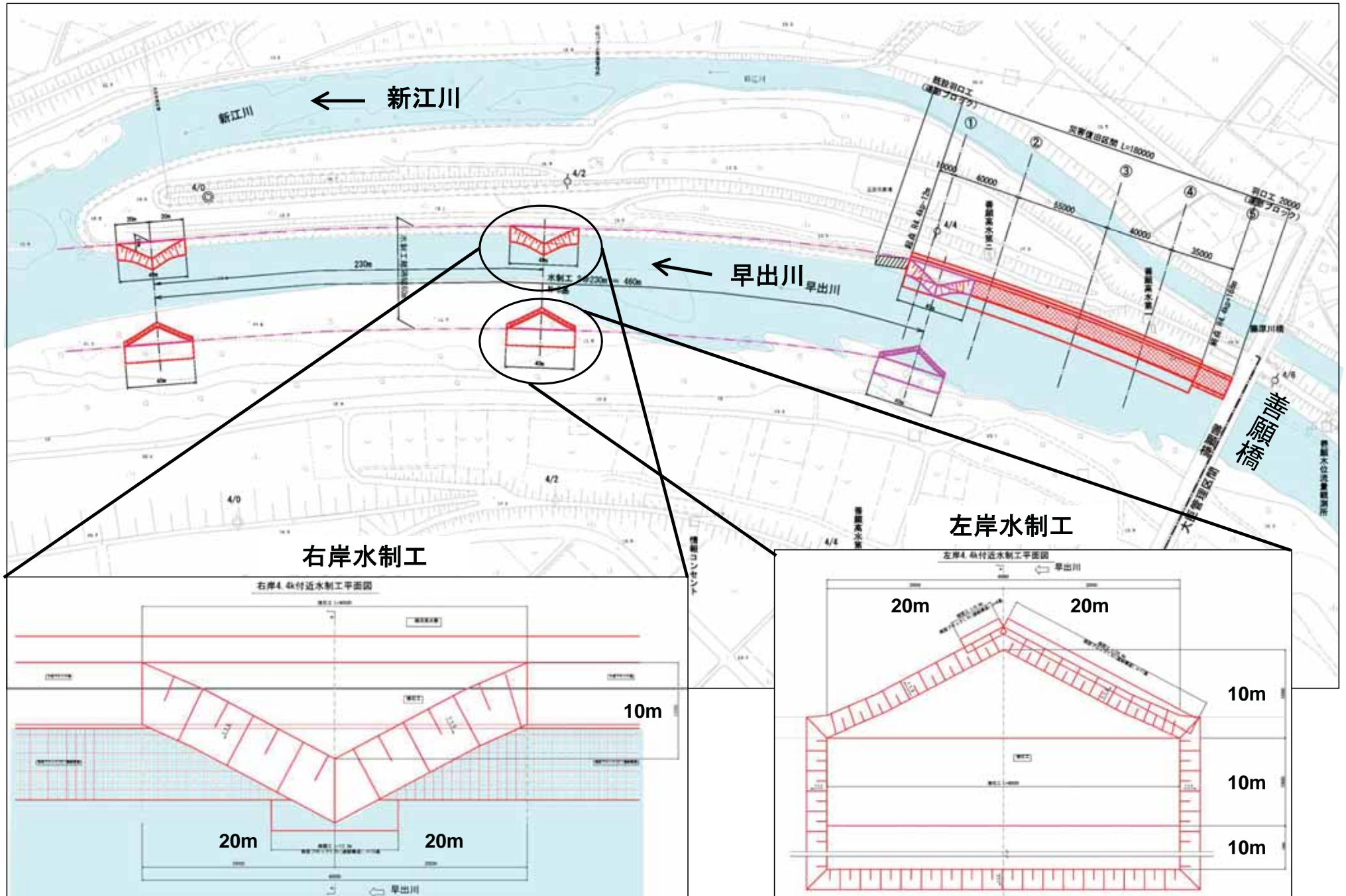


## 標準横断面図



※配置間隔・構造・形状については、今後のモニタリング等により変更となる可能性があります。

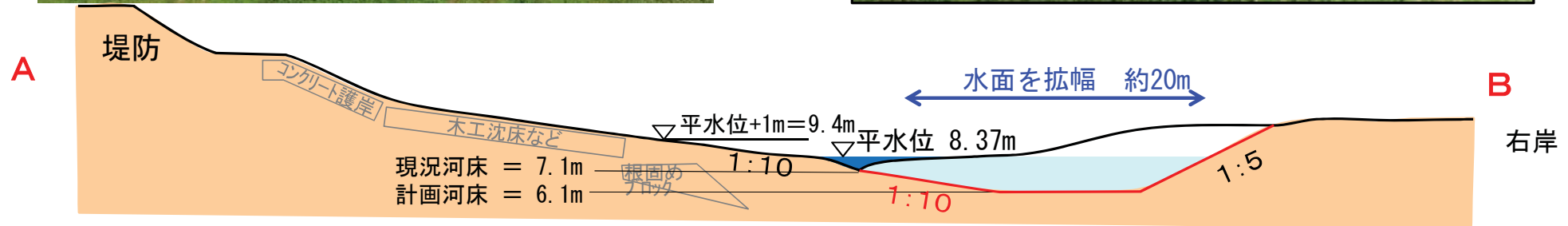




# 論瀨地区ワンド

〔平成28年度完成〕

# 4. 論瀬地区ワンド





# 平成30年度モニタリング結果速報

【ワンド等湿地の再生】

【早出川・流れの多様性の再生】

# 1. 植物調査結果速報(頻度法)

- ・秋季(H30/9/25-26)に、1測線あたり20コドラート(1m×1m)を配置した比高の異なる2測線で調査を実施した。
- ・施工から間もない下里、水ヶ曽根、高山ライン1では1～2年草の水辺湿地に生育する種が多い。

区分	生活型	生育地区分	種名	焼山地区		下里地区		水ヶ曽根地区		高山地区		論瀨地区		重要種選定カテゴリー			外来種			
				水際ライン	参考ライン	水際ライン	参考ライン	水際ライン	参考ライン	水際ライン1	水際ライン2	水際ライン	参考ライン	環境省	新潟県	新潟市				
出現頻度 1位(◎) 2位(○)	1～2年草	水辺・湿地	オオイヌタデ			◎		◎												
			オオクサキビ							◎	○								その他・国外	
			アメリカセンダングサ	○		○						○								その他・国外
			ヤナギタデ							○			○							
			トキンソウ									○	○							
		ヌカキビ										○								
		耕作地・路傍	カヤツリグサ										◎							
	草地	オオブタクサ							○				○						重点・国外	
		カナムグラ							◎											
		ツルマメ	○																	
	多年草	水辺・湿地	ヨシ		◎															
			ツルアブラガヤ	◎													NT	NT		
		耕作地・路傍	セイタカアワダチソウ		◎		◎						◎							重点・国外
			ヨモギ				○						◎	◎						
アリタソウ												○							国外	
樹林地・林縁	ヘクソカズラ		○																	
重要種	1～2年草	水辺・湿地	ホソバイヌタデ		●							●			NT	VU				
			ヌカボタデ										●			VU	VU	VU		
	タコノアシ		●		●										NT	VU	VU			
	ヤガミスゲ		●				●									NT	NT			
	ツルアブラガヤ		●		●								●			NT	NT			

重要種の選定根拠  
 環境省:「環境省レッドリスト2018」(2018年、環境省)の掲載種  
 新潟県:「新潟県第2次レッドリスト」(2014年、新潟県)の掲載種  
 新潟市:「大切にしたい野生生物-新潟市レッドデータブック」(2010年、新潟市)の掲載種  
 VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧  
 VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧  
 VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧

外来種の選定根拠  
 特定:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2015年、環境省)の掲載種  
 生態系被害:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年、環境省)の掲載種  
 国外:元々当該水系には分布しておらず、国外から持ち込まれたもの  
 重点:重点対策外来種、その他:その他の総合対策外来種

◻: 検討対象種



# 2. 魚類調査結果速報

- ・秋季(H30/9/25-28)にタモ網、サデ網、投網、セルビン、定置網を用いて調査を実施した。
- ・焼山・下里・水ヶ曾根はコイ科の遊泳魚が多く、高山・論瀨はやや少ない。早出川は礫河床を好む種が多い。

NO.	目名	科名	種名	生活型	タイプ	焼山	下里	水ヶ曾根	高山		論瀨	早出川	重要種選定カテゴリー			外来種		
						地区	地区	地区	地区	旧地区	地区	河川	環境省	新潟県	新潟市			
						ワンド	ワンド	ワンド	ワンド	旧ワンド	ワンド	河川						
1	コイ目	コイ科	コイ	淡水性	遊泳	●												
2			ゲンゴロウブナ	淡水性	遊泳	●								(EN) <sup>※1</sup>			国内	
3			ギンブナ	淡水性	遊泳	●	●	●		●		●						国外・重点
4			タイリクバラタナゴ	淡水性	遊泳		●	●										国外・重点
5			オイカワ	淡水性	遊泳		●			●		●	●					
6			アブラハヤ	淡水性	遊泳	●	●	●		●		●	●				LP	
7			ウケチウグイ	淡水性	遊泳			●							EN	VU	NT	
8			ウグイ	回遊性	遊泳	●	●	●	●	●		●	●					
9			モツゴ	淡水性	遊泳	●		●	●									その他 <sup>※2</sup>
10			ビワヒガイ	淡水性	遊泳								●					国内
11			タモロコ	淡水性	遊泳	●	●	●					●					
12			カマツカ	淡水性	底生								●					
13			ツチフキ	淡水性	底生		●	●	●	●					(EN) <sup>※1</sup>			国内
14			ニゴイ	淡水性	底生	●	●	●	●	●		●	●					
15	ドジョウ科	ドジョウ科	ドジョウ	淡水性	底生							●	NT					
16			カラドジョウ	淡水性	底生		●										国外・その他	
17			ヒガシシマドジョウ	淡水性	底生								●					
18			フクドジョウ	淡水性	底生								●					国内
19	ナマズ目	ギギ科	ギギ	淡水性	底生							●				その他 <sup>※3</sup>		
20		アカザ科	アカザ	淡水性	底生							●	VU	NT	NT			
21	サケ目	アユ科	アユ	回遊性	遊泳							●						
22	カサゴ目	カジカ科	カジカ	淡水性	底生							●	NT	NT	NT			
23	スズキ目	サンフィッシュ科	コクチバス	淡水性	遊泳			●				●				国外・特定・緊急		
24			ハゼ科	ウキゴリ	回遊性	底生	●	●	●	●		●	●					
25				ジュズカケハゼ	淡水性	底生	●	●	●	●	●				NT	VU		
26				マハゼ	汽水性	底生	●											
27				旧トウヨシノボリ類	回遊性	底生			●					●				
28				ヌマチチブ	回遊性	底生	●							●				
計	5目8科28種			種数		12	11	13	6	7	5	19	5	4	4	9		

※1:ゲンゴロウブナ、ツチフキについては、国内移入種のため、重要種に計数しない。  
 重要種の選定根拠  
 環境省:「環境省レッドリスト2018」(2018年、環境省)の掲載種  
 EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧  
 新潟県:「新潟県第2次レッドリスト淡水魚類・大型水生甲殻類編(2015)」(2015年、新潟県)の掲載種  
 VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧  
 新潟市:「大切にしたい野生生物-新潟市レッドデータブック」(2010年、新潟市)の掲載種  
 NT:準絶滅危惧、LP:地域個体群  
 外来種の選定根拠  
 特定:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2015年、環境省)の掲載種  
 生態系被害:「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年、環境省)の掲載種  
 緊急:緊急対策外来種、重点:重点対策外来種、その他:その他の総合対策外来種  
 ※2:「東北地方などのモツゴ」が対象。※3:「九州北西部及び東海・北陸地方以東のギギ」が対象  
 国内:元々当該水系には分布しておらず、国内の別の生息地から持ち込まれたもの  
 国外:元々当該水系には分布しておらず、国外から持ち込まれたもの

☐:検討対象種



ウケチウグイ



カジカ